

平成24年度 東京大学連携講座

今年で2回目となる「虎姫高校 東京大学連携講座」に
1年生（67回生）16名が参加しました。

【1日目：平成24年12月19日（水）】

- 新幹線で東京へ・・・お昼前に東大本郷キャンパスに到着。まずは「赤門」前で記念写真。→東京は晴天でした。
- 虎高OBの梅本滉嗣さん（法4年）よりキャンパスを案内していただく。
- 昼食は大学生協でいただきました。（名物「赤門ラーメン」が人気でした。）



↑ 安田講堂前にて（梅本先輩と）



↑
高田研究室のある工学部11号館屋上から眺める。（東京スカイツリーが見える。）

← いよいよ講義が始まりました。

講師：高田 毅士 教授
東京大学大学院工学研究科建築学専攻
（虎姫高校25回卒）

講義：「建築構造デザイン入門」



○建築の3要素（構造の強、機能の用、美しさの美）から始まり、建築における経済性、安全性、安定性の重要性、材料について等、日本はもとより世界を歩いて見てこられた高田先生自身の貴重な建築物の写真をまじえて

分かり易く講義していただきました。講義の後には生徒からたくさんの質問が出ました。
（Q. 引っ張り構造とは、Q. スカイツリーの下も揺れるのか etc.）

○高田教授より工学部の各校舎を案内いただく。右は建築学科の設計のための実習室。さまざまな模型がありました。天井の下には上から全体を見下ろせるキャット・ウォークと呼ばれる通路がありました。 →

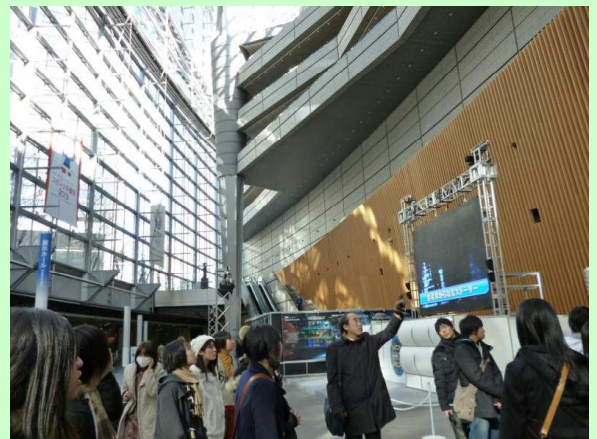


【2日目：12月20日（木）】

○高田教授より東京駅周辺の優れた建築物を案内していただきました。



↑平成24年リニューアルされた赤レンガの東京駅丸の内口駅舎。
(辰野金吾氏設計：工部大学校、後の東大工学部出身)



↑「東京国際フォーラム」
シンボルとなるガラス棟は全長約207m、地上高57.5m、最大幅約32mの巨大な舟形の空間です。

○東京姉水会前川会長、金澤副会長、田辺常務理事の3人の大先輩の皆様が私たちのために歓迎の昼食会を開いてくださいました。おいしい食事と温かい激励のことば、本当にありがとうございました。

生徒の感想より

(抜粋) ●世界の広さを見た気がします。東京大学は想像を超えた立派なところでした。・・・中略・・・たくさんのお話をうかがって、私もそれに続きたいと思いました。そのためには努力を続け、積極的に様々なことに挑戦していきたいです。私も凄い建築物を造りたいものです。いろいろなものを見たり聞いたりして、未来への期待や希望が増えました。この思いでこれからはもっと勉強を頑張りたいと思います。勉強が嫌になった時は、この2日間を思い出して頑張っていきたいです。●東大を見学でき、教授から直接講義を受けられたのは、とても貴重な体験になりました。・・・中略・・・建築物に柱があることは当然のことだと思っていましたが、屋根の形状を変えて柱のない広い空間をつくるのは、初めて感じた視点でした。まだまだ他の学問、大学なども知らない面がたくさんあるのだと思いました。姉水会の先輩方との昼食会では、虎姫高校と虎高生の可能性はすごいのだと感じました。東京大学への進学だけでなく大企業の役員や教授といった社会へ大きく貢献できる立場にある人が多くいることをよく知ることができました。大きな鮎になります。